

**意見交換会（宇治市都市計画マスタープラン）議事録**  
**対象：小倉地域**

日時：2021/11/11 19：00～20：40

会場：西小倉コミュニティセンター

参加者：13名

宇治市：米田副部長、中本副課長、森田係長、藤田主任

マスタープラン検討部会：後藤委員

発言者	内容
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄小倉駅前のまちづくりや、小倉地域の小中学校の統廃合の状況を教えて欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄小倉駅周辺のまちづくりの状況として、令和元年11月より検討委員会を設置し、最初に地域の現状把握を行いました。そして、令和2年度に近鉄小倉駅の構造について4パターンに分けて検討を行い、最終的にJR宇治駅のように階段を上がった先の自由通路から改札口を通過してプラットホームに降りるパターンと、駅舎はそのままで東西の改札口の間を往来できる橋を架けるパターンの2案に絞って検討を行っています。以前から要望を受けている連続立体交差の構造についても、今後まちが発展した際に改修を検討することとしています。</li> <li>・また、小倉駅周辺を4つのゾーン（駅西住宅ゾーン、駅前ゾーン、旧大和街道住宅ゾーン、幹線道路沿道ゾーン）に分け、各ゾーンでまちの将来像を決めて検討を行っています。</li> <li>・今後、まちづくりの基本構想についての説明会やパブリックコメントも予定しています。（令和3年11月11日現在）</li> <li>・小中学校の統廃合については、別の部署の担当になりますが、西小倉中学校を小中一貫校とし、地域の小中学校を集約する形で検討しています。小倉地域は水害に対する防災が課題であるため、統廃合によって廃校となる学校の扱いについても、防災の視点から検討しているところで、将来的にそれらの防災計画とも連携してまちづくりを進めていきたいと考えています。</li> </ul>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達がボールを使って遊ぶ場所が無い。学校の統廃合により小・中学校が無くなると、更にボール遊びの出来る場所が減ることになる。ボール遊びのできる場所を確保して欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉は公園が少ない地域であり、公園のような空間は防災面からも必要であるため、廃校後の学校の敷地利用については、そのような視</li> </ul>

	<p>点から地域の声を聞きながら検討しなければならないと考えています。</p>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安田町周辺の田畑がある場所に工場を誘致する計画があるが、小中一貫校も西小倉中学校ではなく、田畑の場所で作って欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は地域コミュニティの中心にもなるため、地域の人々が集まりやすい場所を考えて、郊外の田畑ではなく、西小倉中学校の場所を選んでいきます。</li> <li>・工場などは、働く場として宇治市に必要なものですが、街中では騒音などの問題が発生することから、郊外部に誘致することを計画しています。</li> </ul>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中心になる場所は、西小倉中学校以外にも探せば他にあると思うので、他の場所でもう一度考え直して欲しい。</li> </ul>
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在隣接している西小倉小学校、南小倉小学校と城南菱創高等学校の配置を上手く再編して小中一貫校の敷地を生み出すことはできないか。また、それらの配置を再編することで子供の遊び場の確保もできないか。公有地は一度売ってしまうとなかなか取り戻せなくなるので、地域の人々が利用できる場所として残すようにした方が良い。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統廃合の件については担当部署が違うので詳しい説明は出来ませんが、他の学校の場所に対しても担当課が様々な検討を行い、その結果、西小倉中学校を選定しています。</li> </ul>
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政内部だけで考えるのではなく、市民からも色々な意見を聞いて検討する余地があるのではないか。</li> </ul>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西小倉地区には文化施設が無い。他の都市では駅からすぐ行ける文化施設がある。近鉄小倉駅周辺のまちづくりを検討する中で、駅の近くに文化施設を作って欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉地域のまちづくりについて、平成30年から京都府立大学の協力を得ながら、地域住民の方とも意見交換をして取り組んでいるところですが、文化センターは地域の需要なども含めて議論にはなっておらず、つくらは想定していない状況です。</li> </ul>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの意見にもあったが、空いた公有地を一度売ってしまうと元には戻らない。以前、幼稚園があった場所に子供のふれあいセンターがあり、子供達の良い交流の場となっていた。しかし、その施設を宇治市が廃止してしまい、交流の場が失われてしまった。公共施設の土地は市民が交流するための貴重な財産なので、売らないようにして欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校後の学校の土地利用については、売ることが前提ではなく、小倉地域には公園が少ないことや、防災面に課題があることも踏まえて、</li> </ul>

	<p>土地利用を検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の跡地利用については、「地域住民の皆さんの意見を聞きながら決める」ということを担当部署からも聞いています。今日、伺った意見も担当部署に伝えます。</li> <li>・宇治市の公共施設が減っているのは事実で、人口減少や少子高齢化が進む中、公共施設もコンパクトにしていけないと、市民サービスを維持できない状況になってきています。宇治市の人口が減り、税収が少なくなるとサービスが維持できなくなるので、それを防ぐために産業を誘致し、働き手となる若い世代の方に宇治市に来てもらう必要もあります。しかし、小倉地域については水害の防災面に課題がある地域であり、学校のグラウンドに貯留機能を持たせて水害対策に活用しているところもあるため、それらの点も踏まえながら土地利用を考える必要があると考えています。</li> </ul>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の誘致が必要というが、ヤクルトや日産が撤退した理由は把握しているのか。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の需要の変化やそれに伴う効率性などを考えた結果、撤退を決められたのだと思います。ただし、日産の跡地については、ものづくりの産業を誘致するなど、本市も京都府と連携して雇用の場を生み出せるように取り組んでいます。</li> </ul>
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化センターについてだが、将来、学校の統廃合が進めばその跡地を将来の移転先に利用できないか。人口減少により公共施設を少なくしていくと、それによって宇治市の魅力が失われ、益々宇治市から人が離れていくのではないか。宇治市を魅力のある都市にするためにも公共施設が必要である。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その視点は都市計画で必要だと考えています。時間はかかりますが、施設をまちづくりに適した配置に誘導し、それにより時代に合ったまちに少しずつ変えていく必要があります。</li> </ul>
参加者⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近鉄小倉駅は、宇治市が文化施設をつくらなくても、駅前に任天堂資料館が来ることによって、駅の東側に文化的な施設が集まってくるのではないか。駅周辺の商店なども観光客や若い世代に応じたものになり、変化していくのではないかと考えている。</li> <li>・西側は軟弱地盤なので地震が起こると液状化する。また、低地なので水害時に大きな被害が出るが、幸い巨椋池の特徴で少しずつ水位が上がるため避難はできる。</li> <li>・西側の災害で怖い点は、地震などで火事が起こった場合である。住宅が密集しているので火事が延焼しやすく、消火栓も一斉に使うと水が出なくなってしまう。小倉の人々はもっと町内会や防災会と連携</li> </ul>

	<p>して地域の防火対策について取り組み、足りない部分は宇治市に要望するなど、防火について考えていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉の東西を結ぶ道路が踏切で渋滞していて危険である。今後、更に渋滞するなら道路拡幅などの改良を行って欲しい。最終的には高架にして欲しいが、簡単には出来ないと思うので、出来るところからやって欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任天堂資料館が小倉駅前に来ることになったのは、検討委員会で議論を行っていることが一つのきっかけになったのではないかと考えています。今後、付近への波及効果もあると思うので、まちづくりについて、土地利用の誘導や施策を図っていきたいと考えています。</li> <li>・浸水対策については、担当部署で様々な浸水対策の工事に取り組んでおり、以前に比べると大分改善されたと言う声も地域住民の方から聞いています。まちづくりとしても、今後も継続して浸水対策に取り組んでいくことを方向性として打ち出しています。</li> <li>・駅西側の住宅地は、都市計画法が出来る前に開発されたことから住宅が密集しており、防災面に課題があります。地域には狭い私道が残っており土地の整理が必要で、まちづくりを行うに当たり、まずは官民境界を明確化することについて、担当部署で検討しているところです。</li> <li>・道路の渋滞については、中長期的な計画として、新名神高速道路の開通や他市町村からの交通の流れも含めた広域的な道路ネットワークでの計画を検討しており、その中で小倉地域の東西道路の渋滞についても改善を図っていきたいと考えています。</li> </ul>
参加者⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安田町の農地に産業立地検討エリアを設定することを心配している。地球温暖化が問題になっている中で、農地を減らしてどうするのか。あの場所は平坦な土地であり、人々が歩きやすく、バリアフリーには最適な土地である。また、バードウォッチングの櫓を建てて観光に活かしたりもできる。野菜をつくれれば消費者も周りに大勢いるし、若手の農業従事者も入ってくると思う。農業を振興するエリアにして欲しい。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治市には市内の企業で働いている方が多いですが、宇治市で事業を続けるにも土地がないため市外に移転する企業が出てきており、企業数が減っています。そのため産業振興エリアを設けて市民の雇用の場を生み出す必要があると考えています。</li> <li>・農業についても重要で、マスタープラン検討部会においても、自然や潤いのある環境で生活できることを宇治の魅力としています。農業の高収益化、ブランド化や若手従事者への支援など、工業と同様に農</li> </ul>

	業の支援にも取り組み、工業と農業のバランスの取れた産業構造のまちづくりを考えています。
参加者⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>先ほど、公有地を売ってしまったら取り戻すことは出来ないと言う意見があったが、農地も一度なくしてしまうと取り戻すことは出来ない。宇治市は宇治茶のようなブランドが大事と言うが、日常で食べる食材は身近で採れて安心できるものの方が大事。身近な田畑の景色や自然環境は貴重だと思う。工場を誘致することだけが産業振興ではない。宇治市は宇治ならではのまちづくりをして欲しい。</li> </ul>
参加者⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇治市の茶畑もどんどん減っており、観光でお茶をアピールすることが出来なくなってしまうのではないかと危惧している。農業をもっと大事にして欲しい。工業は景気に左右されやすいが、農業はそれほど左右されない。地産地消は魅力的であり、人が宇治市に入居するきっかけになると思う。また、災害時は地元で食材が採れることで、とても助かったと言う話も聞いている。</li> </ul>
参加者⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇治市は色んな施策を「やります」と言っているが、もっと迅速にやって欲しい。宇治市全体の都市計画道路は昭和30年頃から決まっているが、ほとんど実行されていない。小倉駅前のまちづくり構想も40～50年ほど前からある。</li> </ul>
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> <li>巨椋池の干拓田の休耕田を福祉活動で利用しているが、水がとてもよく管理されていることに感心している。これまでの歴史の中で築かれた干拓田が潰されることは本当に勿体ない。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画でも農地や自然を軽く見ている訳ではなく、農業や緑の提供、治水といった役割は大切であり、マスタープランでもそれらを守っていくように計画しています。産業の実情からやむを得ず開発せざるを得ない場所もありますが、基本的には農地も守っていくこととしており、市街地の生産緑地も苦心しながら保全に取り組んでいます。</li> </ul>
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの都市計画の視点③に、「市、市民、事業者が、まちづくりのパートナーとして力を結集し、将来のまちの姿を共有しながら、パートナーシップによる都市づくりを進めます」と書かれているが、これまでパブリックコメントなどを提出したが、市民の意見として反映されていないように見える。</li> </ul>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> <li>それは、まちづくり景観条例に基づく取り組みについて記載したものです。地域でまちづくり計画をつくる場合に、それを本市が支援することと、開発行為を行う時に事業者は地域の方に説明した上で計画を立てなければならないことをまちづくり条例に記載し、まちづくりとして取り組んでいます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんも地域でまちづくりの取り組みを行いたい場合は相談してもらえれば支援しますし、まちづくりに関する思いを是非とも地域で共有して頂ければと思います。</li> </ul>
<p>マスタープラン 検討部会委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは変化に適応できる都市計画が重要であり、成長型社会から成熟型社会に変化する上で、まちを広げるのではなく今ある施設などの質を高めていくことが重要である。今回の話し合いの中で学校の統廃合の話が出ていたが、学校のような今ある施設を残して、より有効にまちづくりに活用する方法を皆で話し合っていくことが重要である。</li> <li>・産業立地についても、良好な農地を活かしていけるのであればそうあって欲しいと思うし、地域の皆さんからも地域の良さを発信し、全員で良いまちをつくって欲しいと思う。</li> </ul>